



JPNIC UPDATE

2003年3月7日

総会講演会

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター

Agenda

1. 国際化ドメイン名RFC発行“予定”
JPNIC 技術部準備室 小島育夫
2. 第15回APNICミーティング報告
JPNIC IPアドレス課 佐藤晋
3. JPNIC Next Generation Task Force
(ng-tf)の活動について
JPNIC 企画課 根津智子



1.国際化ドメイン名 (Internationalized Domain Name; IDN) RFC発行

JPNIC 技術部準備室 小島育夫

本日RFCが発行されました！

- 2003年3月7日、IDNの技術仕様を規定するRFCが3本発行されました
- IDNはドメイン名を表現する文字として、従来の英数字に加え、漢字や仮名などの使用も可能とする技術であり、日本語ドメイン名はIDNの技術に基づいて実現されます

RFCの概要

- RFC3490 IDNA
(Internationalizing Domain Names in Applications)
 - 国際化ドメイン名のアーキテクチャと処理手順を規定しています
 - NAMEPREPの実施とPunycodeへの変換を行うことを規定しています
 - Punycodeを他の文字列と区別するための識別子(ACE Prefix)として "xn--"を規定しています
- RFC3491 NAMEPREP
(A Stringprep Profile for Internationalized Domain Names)
 - ドメイン名として処理するために必要な正規化処理を規定しています
- RFC3492 Punycode
 - 国際化ドメイン名をアスキー互換（英数字とハイフンの組み合わせ）表現に 符号化・復号化するためのアルゴリズムです

今後の予定

- 3月中旬をめぐりに、IDNの参照実装として JPNICが開発しフリーソフトウェアとして配布しているidnkitのRFC対応版(idnkit-1.0)をリリースする予定です
- 正式なアナウンスは別途行います

お問い合わせ先

〒101-0047

東京都千代田区内神田2-3-4 国際興業神田ビル6F
社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

TEL 03-5297-2311 (代表)

E-mail idn-cmt@nic.ad.jp

URL <http://www.nic.ad.jp/>

参考URL

- JPNIC (<http://ジェーピーニック.jp/>)
 - ドメイン名の国際化
<http://www.nic.ad.jp/ja/idn/>
 - idnkitダウンロード
<http://www.nic.ad.jp/ja/idn/mdnkit/download/>
- JDNA (<http://日本語ドメイン名協会.jp/>)
 - IETF IDN WGの進捗状況報告
<http://www.jdna.jp/activities/survey/idn-wg/>
 - 日本語ドメイン名Webサイトへのアクセス
<http://www.jdna.jp/activities/survey/browsers/>
- IETF IDN WG
 - <http://www.i-d-n.net/>
 - <http://www.ietf.org/html.charters/idn-charter.html>



2.第15回 APNICミーティング報告

JPNIC IPアドレス課 佐藤晋

ミーティングの概要

- 2003年2月24日～2月28日
- 台湾、台北市にて開催
 - APRICOT2003と同時開催
- 各種SIG
 - アドレスポリシー、DB、IPv6、IX、DNS、ルーティング
- NIRミーティング
- チュートリアル
 - APNICトレーニング(各種審議について)、IRR
- 総会(APNIC Member Meeting)
 - APNIC年次報告、2003年予算計画、他RIR報告、各ミーティング(SIG)の報告、EC(Executive Council)選挙



ミーティングの要点 (1)

- SIG
 - アドレスポリシーの変更手続きに関する合意
 - アドレスポリシーの変更には、ミーティングの前後にML上での議論を行う期間を設ける
 - 提案は誤解を与えないよう、テキストで行うべき
 - 最終決定にはAPNICメンバーの同意が必要
 - IPv6アドレス管理についての提案
 - アドレスの断片化 (fragmentation) を避けるため、RIRでIPv6アドレスの共有プールを設定して、そこから順次IPv6アドレスの払い出しを行いたいとの提案がAPNICよりなされた
 - 明確な反対意見は出なかったものの、引き続き議論を行っていくこととなった

ミーティングの要点 (2)

- NIRミーティング
 - APNICに対するNIRの費用負担、選挙権のあり方について、ML上で議論する方向となった
- 総会(APNIC Member Meeting)
 - ECの改選枠4に対し、以下の方々が当選された
 - Qian Hualin (China)
 - Kuo-Wei Wu (Taiwan)
 - Ma Yan (China)
 - Yong Wan Ju (Korea)



次回ミーティング

- 2003年8月18日 ~ 22日
- ソウルにて

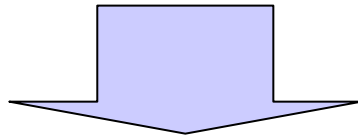


3.JPNIC Next Generation Task Force (ng-tf)の活動について

JPNIC 企画課 根津智子

Next Generation Task Force (ng-tf)設立の背景

- インターネットが社会インフラとして定着し、その重要性が、社会的認識として高まっている
- しかし、技術と社会の接点における多くの課題の指摘がされている



- インターネット社会の健全な発展の為にJPNICがすべきこと
 - 1) 課題の解決に携わることのできる人材の発掘
 - 2) インターネットの健全な発展に貢献できる人材の育成
 - 3) 人材の層を厚くしていくこと
- JPNIC内の専門家チームとしてng-tfを2002年11月に発足
 - 第2回 APNG-Camp*の参加者をコアメンバーとして

Next Generation Task Force (ng-tf)の当面の目標

1. インターネットの発展に貢献してきた国内外の多くの方々との交流を図り、Next Generationの個々人が次世代のインターネットコミュニティを牽引していくために必要な経験を積むこと
2. インターネットの健全なる発展の為、諸種の課題に関し次世代を担うNext Generation同士が知見を共有し、議論を重ね、課題解決の方策を探り、国際交流を図り、Next Generationとして社会への提言を行っていくこと

今までの活動内容(1)

A) 定期的な研究会(チュートリアル)の開催・・・教育活動として

– 2003年1月18日(土) 第1回研究会

- 「今、インターネットが抱えるHot Issueとは何か」
講師：佐野晋(JPNIC理事)
- 「インターネットガバナンス(1)」
講師：坪俊宏(JPNIC理事)
- 「国際化ドメイン名(1)」
講師：米谷嘉朗(JPNIC IDN-TF/NTTソフトウェア株式会社)

– 2003年2月15日(土) 第2回研究会

- 「インターネットガバナンス(2)」
講師：大橋由美(株式会社日本レジストリサービス/APTLD理事)
- 「国際化ドメイン名(2)」
講師：堀田博文(株式会社日本レジストリサービス取締役)

今までの活動内容(2)

B)メーリングリストや研究会を通じた、議論や交流の場の提供

- ng-forum@nic.ad.jp

C)APNG Campへの参加

- 第3回APNGキャンプ(2003年2月20日～21日@台北)
- 日本から14名の参加(うちJPNICからの参加は9名)



*APNG Camp

(<http://www.apng.org/camp/>) とは

インターネットのNext Generationが国境を越えて集い、様々な問題について語り合うと共に、将来に向けての協力関係を築いていこうとするCamp

今後の活動予定

A) 定期的な研究会の開催

- 隔月で実施
- チュートリアルとディスカッションを中心とする
- インターネットに関連することを幅広いテーマで行う

B) APNG Campの運営と参加

- 国内に留まらず、国際的に輪を広げていくことを目指す
- 運営にも参画・・・チュートリアルの提供
- 参加希望者へ支援プログラムを実施予定
 - 第4回 APNG-Camp / 2003年8月末 釜山 (予定)
 - 第5回 APNG-Camp / 2004年2月 クアラルンプール(予定)

C) Internet Weekへの参加

- 1年間の活動成果の発表の場として

More about ng-tf

- 詳細は <http://www.nic.ad.jp/ja/ng-tf/> を
ご覧下さい
- 活動にご興味・ご意見のある方は
ng-tf-sec@nic.ad.jp までお寄せください
- 議論の場へ参加されたい方は
ng-tf-sec@nic.ad.jp までお申し込みください

